

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	House of Veda		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 1日		2025年 7月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31 (回答者数)	29
○従業者評価実施期間	2025年 8月 1日		2025年 8月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年8月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	軸づくりを目的とした身体からの発達支援	ヨガトレ⑧療育の考え方をもとに、姿勢や身体の使い方、基礎感覚（前庭感覚・固有感覚など）に着目し、遊びの中で身体を使う活動を取り入れている。	子どもの発達や興味に合わせた身体活動の工夫を重ね、楽しみながら姿勢や身体の使い方が育つ支援をさらに充実させていく。
2	子どもが安心して過ごせる環境づくり	少人数でゆったりと過ごせる環境や空間づくりを大切に、子どもの気持ちに寄り添った関わりを心がけている。照明や雰囲気などにも配慮し、安心して自分らしく過ごせる場づくりを行っている。	子どもたちの様子や保護者の声も参考にしながら、環境設定や活動の進め方を見直し、より安心して過ごせる場づくりを継続していく。
3	保護者とともに子どもの成長を支える関わり	子どもの良いところや成長を具体的に保護者へ伝え、言葉かけや関わり方の工夫などを共有しながら、家庭での子育てにもつなげるよう支援している。	保護者向け講座やお茶会、相談の機会などを通して、子どもの発達理解や関わり方を共有できる場をさらに充実させていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	周知の徹底	マニュアルや相談窓口について、より分かりやすく周知する工夫の余地がある	より分かりやすい案内資料や説明方法を工夫し、定期的にお知らせすることで、すべての方が安心してご利用いただけるようにする
2	保護者向け講座・交流の充実	講座やお茶会の開催方法や内容について、さらに参加しやすくできる余地がある	内容のバリエーションを増やしたり、参加しやすい日時や形式を検討し、より多くの保護者の方にご参加いただけるよう工夫する
3	きょうだい児への支援の充実	きょうだい児のニーズの把握が十分にできておらず、ご家庭ごとの希望や関わり方を体系的に把握する機会が限られている	ご面談時にきょうだい児の様子や希望をお伺いするとともに、今後はアンケートや参加型の活動などを通じて、より多くのきょうだい児のニーズを把握し、支援の充実につなげる

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	House of Veda
------	---------------

公表日 2025年 9月 1日

利用児童数

31

回収数

29

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	1			あえてバリアフリーにしすぎないようにしていると説明を受け、日常生活に生きるようになっていと感じます。	より安心して利用していただけるよう保護者へのご説明の機会を設けて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29				センス良く、快適に過ごせる空間になっている。子ども、大人も居心地がよい空間です。	子どもたちの感性が刺激され、安心して過ごせる空間づくりを大切にしています。いただいたお声を励みに、活動内容な子どもたちの様子に合わせて、今後も環境設定や模様替えを適宜行いながら、心地よい空間づくりに努めて参ります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29				季節ごとのパーティーなどイベントを子どもが楽しみにしています。	季節の行事やイベントについては、その時々子どもたちの興味や関心を踏まえながら内容を検討しています。「今の子どもたち」にとって楽しく、発達促進にもつながる活動となるよう試行錯誤しながら、パーティーなどのイベントも定期的に企画・実施しています。今後も子どもたちが楽しみにできる活動づくりに努めてまいります。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	19	7			年に数回、地域の保育園と交流の機会があります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	1		2		保護者様向けの講座、お茶会を開催しております。今後も企画・お知らせして参ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	13	5	7	兄弟が参加できるイベントがあり、兄弟も喜んでます。	保護者様向けのお茶会、兄弟児さんも参加できるイベントを開催しております。今後も企画・お知らせして参ります。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27				2	日常的に相談窓口の存在や利用方法について説明・周知を行い、相談や申入れがあった場合には迅速かつ適切に対応するよう努めています。今後も、子どもや保護者が相談しやすい環境づくりと周知方法の工夫を継続して行っておりまいます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29				子どもはHouse of Vedaと先生方が大好きで、リラックスして毎回楽しみに通わせていただいています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29				とにかくヴェーダに行きたがるので親子でとてもありがたい場所になっています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	29				スタッフの方は、誰、いつもポジティブな視線で子どもと関わってくださり、親も知らなかった子の良い所を教えてくださいるので、つらくなりがちな育児の中でとてもありがたい存在です。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

	事業所名	House of Veda	公表日 2025年 9月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		お子さまのご様子に合わせて、適宜模様替えを行いながら、より快適に過ごしていただけるように、引き続き、工夫してまいります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員体制のさらなる充実と、職員間の連携強化を日々はかっていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	○	あえてバリアフリー化しすぎないように、日常の環境に近い状況を意識しております。	今後、配慮の必要がある児童を受け入れる場合、バリアフリー化に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々、清掃・消毒を徹底し、快適に過ごしていただけるように配慮しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、カーテンで個室化して使用できるようにしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日、朝会・夕会でその日の振り返りと、月1回のミーティングを行い、業務改善を進めるための話し合いの時間を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年一回保護者様に対しアンケート調査を実施し、取りまとめたものを職員間で共有して改善案を話し合っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年一回職員に対しアンケート調査を実施し、取りまとめたものを職員間で共有して改善案を話し合っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価は現在行っていません
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に事業所内研修を行い、支援の質向上をはかっています。外部講師を招いての研修会も不定期に行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域に対応した支援プログラムを作成しています。	支援プログラムの公表は年度内に行ってまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個別支援計画作成にあたり、保護者さまと面談をさせていただき、ニーズを把握させていただいております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画作成のための会議では、保育士・児童指導員とともに、多角的な評価に基づいて検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画をもとに、職員間で具体的な目標・目的を共有し、日々の支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		感覚統合力は、チャートグラフで評価を行っています。足裏測定・姿勢チェックも客観的指標として定期的に記録しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインのねらい及び支援内容を踏まえ、個々に必要な項目設定と具体的な支援内容を設定しています。	私たちの支援は、マニュアルがなく、子供の個性・特性に合わせて、得意な神経回路から苦手な部分を克服していくアプローチをしているので、技術訓練的な方法ではありません。そのため、支援内容は、あえて抽象度の高い内容とし、日々の支援計画の中で具体的な支援に落とし込んでいきます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々の朝会・夕会を通じて、子どもたちの姿を多角的にとらえ、今の自発性に合わせた活動プログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムが固定化することで、慣れによる上達が始まるため、活動プログラムを固定化しないようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子さまの状況に合わせて、個別の活動、集団の活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成し支援を行っています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々、朝会・夕会での情報共有を行い、確認の徹底を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		日々の朝会・夕会を通じて、子どもたちの姿を多角的にとらえるための話し合いをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		写真付きの報告書を残し、姿勢の変化が視覚的にわかるようにしています。ミーティングで支援の検証・改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回以上のモニタリング実施・個別支援計画の見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者・常勤保育士がサービス担当者会議に参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の関係機関と連携して支援をさせていただいております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所や幼稚園への移行支援を積極的に行っています。支援内容の情報共有も必要に応じて行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、情報共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターからの巡回指導を受けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		年に数回、地域の保育園と交流の機会があります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎日のお迎えの際に、その日のご様子を共有させて頂いております。年2回保護者様と面談の機会をもっております。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者様向けの講座、お茶会を開催しております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始前や更新時に個別で説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画作成前には個別面談を行い、子どもや保護者様の意向の確認を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		「個別支援計画」を提示しながら、保護者様に対し支援内容の説明を行い、同意をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		希望に応じて相談を受け付けています。また、定期的な面談やモニタリング時に相談の時間を設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者様向けの講座、お茶会で、保護者様同士の交流の機会を持っていただいております。兄弟児も参加できるイベントも不定期開催しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れに対して、迅速かつ誠実に対応しています。相談内容は、職員間で共有して支援に反映しています。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		行事予定は月1回イベントカレンダーを配布しています。活動報告は、SNSでも行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関しては、守秘義務を順守し、鍵付きキャビネットで厳重に保管を行っています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々の特性に応じた分かりやすい言葉での説明や視覚的なアプローチを取り入れながらコミュニケーションを取るよう努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の方も参加していただけるイベントを不定期に開催しております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、職員会議にて対応方法等の確認や訓練を実施しています。	より安心して利用していただけるよう保護者への周知に努めていきたいと思っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、様々な状況を想定した訓練を定期的に実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用開始前に保護者様への聞き取りや書面での提出をしていただき確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様・医療機関と連携を図り安全配慮を行い、徹底したおやつや活動の提供を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練を実施しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		利用児童の発達段階に合わせた安全指導を行うことができるよう配慮しています。	より安心して利用していただけるよう保護者への周知に努めていきたいと思っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例があれば記録・保管し共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルを策定し、全職員で研修を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		マニュアルを策定しています。実際に検討した事例はありません。		